

「業界検定スタートアップ支援事業」の取り組みについて

公益社団法人全国学習塾協会

当協会は平成 26 年 4 月、厚生労働省委託事業『業界検定スタートアップ支援事業』の受託団体に選定され、業界検定の制度構築に向けてスタートを切り、現在、有識者等による委員会を設置し検討しています（平成 27 年度末まで）。

主な検討内容は次の通りです。

- ・ 関係企業等に関するニーズ調査
- ・ 関係企業等からなるプロジェクトチームの設置及び検討
- ・ 関係企業、専門家等を交えた委員会（検討委員会）の設置、検討
- ・ 企業調査（職務分析）の実施
- ・ 検定テキスト及び検定試験問題の作成
- ・ 評価者の育成
- ・ 検定の実施体制の整備
- ・ 試行試験の実施
- ・ 関係企業等に対する研修会の実施

業界検定スタートアップ支援事業【厚生労働省労働政策審議会資料より】

○ 職業能力評価は、働き方に関わらず、能力本位の人材活用を促進する基盤となるものであり、業界全体の人材の底上げ、労働者の処遇改善を含めたキャリアアップ、また企業における採用時ミスマッチ軽減、採用コスト・初期教育コストの低減等の観点からも、その「見える化」や活用促進が重要な課題となっています。

○ 政府の日本再興戦略（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）を踏まえ、「多元的で安心できる働き方」の導入促進の観点から、業界検定等の能力評価の仕組みを整備し、職業能力の「見える化」を促進することとし、26 年度に導入。ニーズの高い業界に焦点を当て、業界検定等

のツール策定、モデル活用等のスタートアップ支援に着手しました。

○ さらに、日本再興戦略改訂版（平成 26 年 6 月閣議決定）による「業界団体への支援により、サービス分野等における実践的な「業界検定」の計画的な整備・拡大しました。

【参考】

[『業界検定スタートアップ支援事業』による「業界検定」の計画的な整備・拡大の方針](#)

（厚生労働省労働政策審議会資料より）